

| | | | | | |
|--------|---|-----|--------|---------|------|
| 教科(科目) | 理科 | 総時数 | 105 時間 | 学年(コース) | 1 学年 |
| 使用教科書 | 東京書籍『新しい科学』 | | | | |
| 副教材等 | 浜島書店『最新 理科便覧 新潟県版』 文理『中学WinPass』 新学社『学習の達成』 | | | | |

1 学習目標

「植物の世界」では、身近な植物についての観察・実験をとおして、生物の調べ方の基礎を身に付けさせるとともに、植物のからだのつくりとはたらきを理解させ、植物の種類を見分け、その生活についての認識を深めさせる。「身のまわりの物質」では、固体・液体・気体の性質、物質の状態変化について理解させるとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付けさせる。「身のまわりの現象」では、光や音の規則性、力の性質について理解させるとともに、日常生活と関連付けて科学的な見方や考え方を養う。「大地の変化」では、大地の活動のようすや身近な地形・地層・岩石などの観察をとおして、地表にみられる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けてみる見方や考え方を養う。

2 指導の重点

- ① 身近な植物や物質、現象に興味関心を持って接するようになる。
- ② 不思議に思ったことや分からないところを率先して調べようとする心を養う。

3 学習計画

| 月 | 単元名 | 教材 | 学習活動(指導内容) | 時間 | 評価方法 |
|---|-----------------|--|--|----|----------------------|
| 4 | 単元1 植物の世界 | 1. 花のつくりとはたらき 2. 葉、茎、根のつくりとはたらき | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な野外活動をとおして、多くの生物がさまざまな場所で生活していることを知る。 ・水中の小さな生物を観察する。 ・ルーペや顕微鏡等の基本操作を身に付ける。 ・花の基本的なつくりの特徴を調べ、花のはたらきを理解する。 ・根、茎、葉の観察から、基本的なつくりの特徴を調べる。 ・植物の体の基本的なつくりが、光合成、呼吸、蒸散といった生命活動に密接に関連していることを知る。 | 6 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 5 | 単元1 植物の世界 | 3. 植物の分類 | <ul style="list-style-type: none"> ・植物の体の特徴に基づいて分類する。 | 7 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 6 | 単元2 身のまわりの物質 | 1. 身のまわりの物質とその性質 2. 気体の性質 3. 水溶液の性質 1学期中間考査 | <ul style="list-style-type: none"> ・物質には固有の性質と共通の性質があることを、実験をとおして理解する。 ・性質によって物質が分類できることを理解する。 ・いろいろな気体を発生・捕集する実験を通して、気体の性質を理解する。 ・水への溶解、再結晶の実験から、水溶液の性質を知る。 ※考査返却 | 11 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 7 | 単元2 身のまわりの物質 | 4. 物質の姿と状態変化 | <ul style="list-style-type: none"> ・状態変化の特徴を、実験を通じて理解する。 ・融点、沸点を利用して、物質を同定したり、分離したりする。 | 9 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 8 | 単元3 身のまわりの現象 | 1. 光の世界 | <ul style="list-style-type: none"> ・光の屈折の実験から、光が2つの物質の境界で屈折するときの規則性を見いだす。 | 3 | 実験レポート 観察記録 課題 |

| | | | | | |
|----|---------------------|---------------------------------|--|----|----------------------|
| 9 | 単元3 身のまわりの 現象 | 1. 光の世界 1学期期末考査 | ・凸レンズの実験から、物体と像の位置や 大きさの関係を見いだす。 ※考査返却 | 11 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 10 | 単元3 身のまわりの 現象 | 2. 音の世界 | ・音の正体や性質を音源の振動と関連させ て理解する。 ・音の大きさや高さや弦の振動の幅や張り の強さとの関係を理解する。 | 10 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 11 | 単元3 身のまわりの 現象 | 3. いろいろな力の 世界 2学期中間考査 | ・物体に力が働くと変形し、運動の様子が 変わることを知る。 ・力の表し方を知る。 ・2力のつりあいの条件を見いだす。 ・圧力は力の大きさと面積に関係すること を見いだす。 ・ばねの伸びと力の関係を見いだす。 ・水圧と浮力を理解する。 ※考査返却 | 11 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 12 | 単元4 大地の変化 | 1. 火をふく大地 | ・火山の形や噴火の様子、マグマのねばり けの関係を知る。 ・観察から火成岩の特徴や鉱物について理 解する。 | 9 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 1 | 単元4 大地の変化 | 2. 動き続ける大地 | ・地震の起こり方とゆれの大きさ、伝わり 方の規則性を見いだす。 ・大地の変動を地球内部のはたらきと関連 付けて理解する。 | 11 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 2 | 単元4 大地の変化 | 3. 地層から読みと る大地の変化 2学期期末考査 | ・地層の観察記録などから、地層のでき方 や広がりを理解する。 ・地層中の岩石や化石から、過去の事象を 推定できることを知る。 ※考査返却 | 11 | 実験レポート 観察記録 課題 |
| 3 | | 1年を振り返って | 1年生の復習 | 6 | 課題 |

計 105 時間 (50 分授業)

4 課題・提出物等

- ・各単元で小テストを行います。復習は各自でやっておくこと。
- ・週末課題、長期休業中の課題をきちんと提出すること。(期限厳守)

5 評価規準と評価方法

| | | | |
|--|---|--|---|
| 評価は、次の4つの観点から行います。 | | | |
| (関心・意欲・態度) | (思考・判断・表現) (技能) | | (知識・理解) |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 観察・実験の技能 | 知識・理解 |
| 自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探求するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとする。 | 自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験等を行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。 | 観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探求する技能の基礎を身に付けている。 | 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 |
| 以上の観点を踏まえ、 ・年4回の定期考査 ・観察・実験への取り組み などから、総合的に評価します。 | | | |
| | ・授業中に行う小テスト | ・提出物 (実験レポートや課題等) | ・授業中の発言 |

6 担当者からの一言

6年間の中等教育学校における初めての理科になります。予習・復習をきちんと行い、学習内容を確実に定着させましょう。また、勉強した内容と実生活を結び付けて考え、理科に対して深い興味をもち、楽しく学習をしましょう。

(担当：植木)